

## 「あさぎり町ゼロカーボンシティ 2050」宣言

近年、地球温暖化に起因する気候変動によって集中豪雨や、台風の巨大化等による自然災害が頻繁に発生し、農林漁業にとりましても、極めて深刻な脅威となっています。人吉・球磨地域でも、2020年7月に球磨川の氾濫により、激甚的な災害が発生しました。また、健康被害、自然生態系の変化及び経済格差など気候変動問題は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

その原因の一つとして挙げられるのが地球温暖化であり、主な原因は、大気中の温室効果ガスの増加といわれています。その対策として、2015年に合意されたパリ協定では「世界的な平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。このような中、我が国においても、令和2年10月に菅総理が「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ」にすることを表明し、熊本県や県内の一部の市町村も「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しています。

あさぎり町においては『若いまち、豊かなまち、そして幸せ感じる「あさぎり町」』を実現し、私たちのかけがえのない故郷（ふるさと）を、未来の子どもたちにより良い姿でつないでいくため、町民や事業者など多様な主体と連携し、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和4年1月24日

あさぎり町長

尾鷹 一範